

2012年4月3日

各位

## 味の素製薬(株)とアルビレオ社、日本とアジアにおける Elobixibatのライセンス契約を締結

2012年4月3日、東京、日本、ヨーテボリ、スウェーデン — 味の素製薬株式会社(社長:豊田友康、本社:東京都中央区、以下、「味の素製薬(株)」)とアルビレオ社(ヨーテボリ、スウェーデン、以下、「アルビレオ」)は、Elobixibat(開発コード:A3309)を日本、韓国、タイ、インドネシア、ベトナム、台湾において独占的に開発、販売する権利を味の素製薬(株)に附与する契約を締結しましたのでお知らせします。本契約により、味の素製薬(株)は、その対価として契約一時金、マイルストーンおよび二桁台の段階的ロイヤルティをアルビレオに支払います。Elobixibatは慢性便秘および過敏性腸症候群における便秘(IBS-C)を対象疾患とした治療薬として現在開発を進めています。

味の素製薬(株)の豊田友康社長は次のように述べています。

「アルビレオが創製したElobixibatを開発・販売できることを大変嬉しく思います。今後、アルビレオとの連携により、早期申請、上市を目指します。また、慢性便秘症およびIBS-Cの患者さんの治療、およびQOL向上に貢献できると期待しています。また、Elobixibatを起点として消化器領域においてアルビレオとの協力関係を拡大していきたいと思えます。」

また、アルビレオのドクター・デイビッド・チスウェル会長は以下のように述べています。

「契約締結は喜ばしいことです。味の素製薬(株)と協力し、日本とアジアの患者さんにElobixibatをお届けする日を楽しみにしています。味の素製薬(株)は消化器疾患領域に注力しており、当社にとってはElobixibatをこの地域で展開するには最良のパートナーです。」

### Elobixibatについて

Elobixibatは新規作用機序を持つ経口治療薬です。腸管内で局所的に作用し、全身の薬剤への暴露を最小限にとどめることができます。胆汁酸トランスポーター(IBAT)を阻害することで胆汁の腸肝循環を調整し、腸管内の水分分泌および腸管運動を促進します。欧米における慢性便秘の患者さんを対象とした第2相臨床試験では、排便回数、イキミ、硬便、腹部膨満等の主な便秘およびIBS-Cの症状を、用量依存的に、臨床学的および統計学的に有意に改善しました。

重症慢性便秘およびIBS-Cの患者数は多く、多くの患者さんが既存の治療法では満足していません。Elobixibatはこのような患者さんにとって安全で効果的な選択肢となりえ、患者さんのQOL向上につながると期待されています。

### 味の素製薬(株)について

味の素製薬(株)は下部消化管疾患に対する薬剤を数多く取り扱っており、IBD治療剤として、低分子 $\alpha$ 4インテグリン阻害剤(開発記号:AJM300)、1日1回投与の5-ASA顆粒製剤(同:AJG501)、ブデソニド注腸フォーム製剤(同:AJG511)や新規経口腸管洗浄剤(同:AJG522、承認申請中)などの開発も手がけております。今後も消化器領域の研究開発、および啓発活動により、診断・治療に貢献し、患者さんや医療従事者から信頼と安心を得られる、消化器を中心とした尖ったスペシャリティファーマを目指してまいります。

### アルビレオについて

アルビレオは、スウェーデンを拠点とするバイオテクノロジー企業で、消化器領域における新規治療剤の開発に注力しています。経営陣は製剤の開発、特に消化器領域における開発に造詣が深く、国際的科学的および臨床学コミュニティで幅広いネットワークを有しています。Elobixibat以外のパイプラインとしては、IBDや肝疾患等の領域でステージの若い開発品等があります。2008年にPhase IV venturesを中心にTPG Biotech、TVM Capital、Scottish Windows Partnershipも加わったヘルスケア領域の主要投資家シンジケートによる資金提供により、アストラゼネカ社からスピンアウトして設立されました。

### 慢性便秘およびIBS-Cについて

慢性便秘は世界中で最も一般的な疾患の一つであり、女性や高齢者を中心として人口の約15%に見られます。慢性便秘では、硬便、塊状便、イキミ、不完全な排便感、不快感および腹部膨満等の症状があり、患者さんのQOLの低下および治療費負担の増大につながっています。慢性便秘の患者さんのおよそ50%は既存の治療法に満足していないとする調査もあり、この領域におけるアンメットメディカルニーズを示唆しています。

IBS-Cは腹部痛と便秘が同時にみられることを特徴としています。世界中で成人の約10~20%がIBSと関連付けられる症状があり、特に女性で多いとされています。IBSの症状は時間の経過とともに現われたり良くなったりし、他の機能的疾患と同時に起こることも多くみられ、QOLの低下につながり、その結果医療費の増大を招きます。多くの患者さんが既存の治療法で満足していないとされています。

以上

### 【本件の問い合わせ先】

味の素製薬株式会社

経営企画部

Tel: 03-6280-9802

Fax: 03-6280-9912

アルビレオ社

Jan Mattsson

Chief Operating Officer

Tel: +46-31-741-14-80

info@albireopharma.com

www.albireopharma.com